

あ さ ひ



あ

さ

川

ひそやかに秀枝ほつえを伝い
大樹の幹を匍もい
落葉をくぐり
石くれの間を抜け

潜せん潜せん

いつしか、かそかなる音を立てて流れはじめる。
胎生する川の可憐なるたたすまい。

さざれにまろび、

つつしの紅を映して流れ

せせらく水は、ゆきゆきて落合おちあい

やがて崖を削きぎ

ときに、巨岩を押ししておらび

瀾らん瀾らん

白煙を噴上し、虹をえがいて落下し

せきを拒んで奔流する。

一途いちどうなる溪流のたたすまい。

渦巻き、泡立ち、淀み、

空の蒼さを己れの色として流れて止まず、

すべての邪悪と混沌を融化して、

延えん、延えん

大河となり、

ときに孤舟を浮べて、白雲と共に流れる。

まこと、川は人の世のたたすまい。

湛たん、湛たん

川は巨大なるエネルギーを呑んで、
原初の大自然の中に

悠々溶けこんで行く。

町長 指定にはなっていないのですか。
三〇カ所から申請が出ていますのでむずかしいことですが、これは是非やってもらわねばなりません。

町長 これは林業だけでなく、道路や保育所事業も含まれたありがたい事業なのです。こども金がかかりませんが、

町長 林業構造改善とも違っているのですね。
町長 違います。違いますけれども、山村振興計画というものをたて、その計画の中に林業構造改善をやりましますということを加えるわけです。

町長 私たち区長会長としても林業構造改善に参画させてもらっています。各地区毎に一本ほづつの林道ということが今計画されています。三カ年計画でやることになっており、第一次は宮崎一城山間の林道が計画されています。

町長 交通安全対策について、町長さんの具体的な考えがあらわしたら……。

町長 今の場合町で具体的に事故の起きる可能性ということからすると、道路そのものの問題の方が交通安全対策としてはほとんどその内容になってしまおうと思います。

町長 道路の拡巾ということが出てくるわけですね。
町長 市はいくら広げても今の道路の数ではなかなか……。

町長 町で一番大事な仕事は道路だと言いますのはそれにもつながるわけですね。
町長 周辺部は今あるものを精一杯拡巾して良くしていく、町部は今あるものを良くすると言っても不可能だから都市計画事業として新しいものをつくっていく、大まかにこの二つの問題になるわけですね。

町長 町部は今あるものを精一杯拡巾して良くしていく、町部は今あるものを良くすると言っても不可能だから都市計画事業として新しいものをつくっていく、大まかにこの二つの問題になるわけですね。

町長 まず大筋のわくを早く整備し、わくとわくのつなぎ目はそのあとでというふうな方向でいくより仕様がなくて、そのほかガードレールをつけるとか、信号機をつけるというふうなことは四十二年にもやっています。

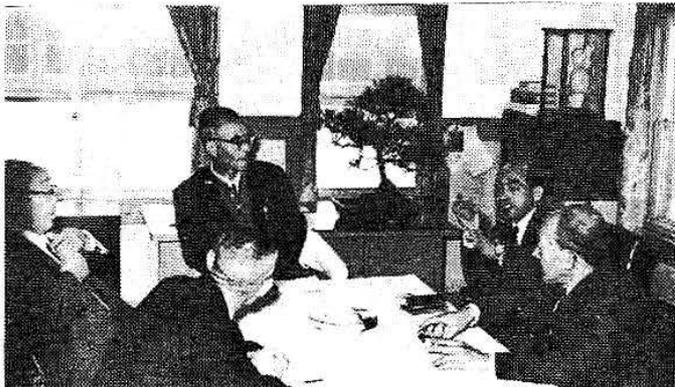
町長 学校統廃合について一番大事なのは、道路の問題、交通の問題ですね。

町長 住民としても、道路が良くなれば交通の便ももっと良くなって、たやすく役場へこれるようになり、町当局とのつながりももっと

町長 密接なものになると思います。この意味でも、道路整備ということをしてひ実現してほしいと思います。

町長 先ほど議長さんのお話の中にあった北陸自動車道の問題、これはつくことはつくのかもしれませんが、問題はインターチェンジの問題です。県境であるが故にインターチェンジの二つもほしいというふうな、そういうことまで考えていられるのですか

町長 密接なものになると思います。この意味でも、道路整備ということをしてひ実現してほしいと思います。



城山県定公園を実現

関電朝日発電には全力を

町長 城山県定公園は、町長さん、ことしぜひ実現したいという考えですか。
町長 せひ四十三年度にやりたいと思っています。問題は受け入れ態勢ですが。

町長 それは、宮崎側から城山へ自動車道をつけることも考えています。それにはいくつかの前提が必要で、それさえ確保できれば、ごく近いうちを実現する自信はあります。地元がその気になってもらうことが肝心ですね。

町長 それからスーパールンド、観光という面から言えば、城山は海と山と一緒になった組合せです。外に朝日岳一帯の天然記念物ということがありますから、これはスーパールンドの実現によって日の目を見ることになるわけですね。今のところ予備調査段階ですが、可能性はあります。しかしこれも競争率が激しいので、相当の努力が必要です。今年度の国に対する陳情の重要事項の一つです。

町長 富山県で何か所くらいインターチェンジがきまっていますか。
町長 富山から西の方で三カ所きまっています。

町長 富山県で何か所くらいインターチェンジがきまっていますか。
町長 富山から西の方で三カ所きまっています。

小川沿岸改良事業

四十三年度の大事業

町長 それから、忘れてはならない大事業で、小川沿岸排水路改良事業があります。四十二年でえん堤工事を仕上げ、四十三年度には用水路を仕上げます。朝日町の農業用水としては画期的な出来事でありまします。

町長 しかし、これでやめると、下流にあたる町の部分は大雨でも降ると浸水さわぎが起ります。四十二年で一ぱいで泊下水路が仕上がったわけですので、四十三年度の仕事としてはもう一本どこかに抜いておくことを考えておかねばなりません。

町長 小川沿岸改良事業をするのと水が豊富にくるわけですか。
町長 水の流れる量というものは一定ですが、小川の羽入と蛭谷の間で、必要量を左岸の方へ抜いて、それを少し走らせてから右と左に分けます。今まで方々で適当に水を取っていました。川底が低いところを掘り直して、川底が低いところを掘り直して、川底が低いところを掘り直して……

町長 町長さんのおっしゃるように、用水路が改修されてまっすぐになると、大雨で洪水にでもなった場合、そこへ集中的に水がきますから、下流に住まいされる人の対策を考えておいてもらうことが大切ですね。

町長 木流川も大いに排水に関係があるわけですか。
町長 あります。木流川のようになやり方で山合川もやります。勢いこれに伴って、田んぼの基盤整備ということも出てきますね。

町長 先ほど議長さんの言われた中小企業の体質改善ということについて……。

町長 今まで中小企業の危機を叫びながら、町として具体的な処置対策がなされていなかったように思います。それで、四十二年に、商工会、商工連盟が中心となって、町も少し助成をしましたが、相当規模で企業診断が行なわれましました。

町長 その調査の結果でこういうことが必要だということが中小企業関係の方から出てくるだろうと思います。その結果によって対策をたて、中小企業の近代化を図っていかなければならぬということですね。

町長 長時間にわたってどうもありがとうございました。ことしも一層よき年でありますよう……。

朝日発電に関する座談会は紙面の都合により、次号に掲載します。

明治100年と申(さる)歳

ことし昭和四十三年は、人それあれに思いをあらたにして迎えたことである。こよみの上では、成り申(つちのえさる)の年に当たる。「さる」といふ動物は人間とよく似ていて、人間に最も近いときれ、親しまれているもの一つである。しかし、「さる」は人間の先祖ではないことは、動物学者の定説である。

さて、ことしは明治維新以来百年を経過した、明治百年の記念すべき年である。政府では、この明治百年を記念すべく、いろいろと行事や事業を計画していることは、ご承知のとおりである。

維新当時、外国の学問知識を求めに急であつて、維新の風雲をよそに英学の講究に余念のなかつた彼の福沢諭吉門において、次のような逸話がのこされている。

江戸城の明け渡しを迫り、大政を天皇にかえすべく薩、長の連合軍(官軍)が江戸(東京)に入ろうとして市中物々しい時に、外国公使の庇護(ひご)助言を得て、治の昔を故なくして、いたすらになつたかしのではない。敗戦による荒れ果てた国土を復興し、悲たんのど

維新の大業というものは、建国以来の日本建国の理想、日本人の精神を、もとの姿にとりもどしたことでつぎる。封建制度という政治上のいきさつ、土農工商とあつた経済上の理由アメリカを始めとする諸外国からの助言、の如きは、単に維新の大業を助成する縁に過ぎないのである。日本国民の自覚が根底をなしているのである。

この明治維新に端を発し、近代国家へと急進する発展を遂げてきたことをかえりみて、終戦後の民主主義国家の国造りは、果たして国民の自覚によるものなのか、さるまねをしていゝるのではなからうか。

「さる年」に思うことは、「さるまね」の民主主義国家建設ではやがては崩壊の悲運にあらやも知れない。日本人は日本人としての土生骨があるはず。

急進な発展を遂げしめる原動力で

編集委員長 九里道守

新春漫筆

異論 越中万葉と佐味郷

越中の国守、大伴家持は、その時代の政治的地位よりはむしろ、万葉歌人の代表的作家として有名である。彼の浪漫的で、しかも繊細な作風は、奈良朝末期から平安朝に至る文芸思潮を代表し、さらに万葉集の編者とも伝えられ、その大集に大きな特色を与えたと言われている。

越中の国は、大化の改新前後まで新潟県の魚沼郡や頸城まで含まれていたらしいが、国府館は現在の伏木にあつて、政治の中心は、伏木、水見あたりで、当時は能登まで越中に属していた。家持が解任されて入京したあと六年後に越中から分かれて能登の国ができていた。

越中の国は、大化の改新前後まで新潟県の魚沼郡や頸城まで含まれていたらしいが、国府館は現在の伏木にあつて、政治の中心は、伏木、水見あたりで、当時は能登まで越中に属していた。家持が解任されて入京したあと六年後に越中から分かれて能登の国ができていた。

越中の国は、大化の改新前後まで新潟県の魚沼郡や頸城まで含まれていたらしいが、国府館は現在の伏木にあつて、政治の中心は、伏木、水見あたりで、当時は能登まで越中に属していた。家持が解任されて入京したあと六年後に越中から分かれて能登の国ができていた。

越中の国は、大化の改新前後まで新潟県の魚沼郡や頸城まで含まれていたらしいが、国府館は現在の伏木にあつて、政治の中心は、伏木、水見あたりで、当時は能登まで越中に属していた。家持が解任されて入京したあと六年後に越中から分かれて能登の国ができていた。

越中の国は、大化の改新前後まで新潟県の魚沼郡や頸城まで含まれていたらしいが、国府館は現在の伏木にあつて、政治の中心は、伏木、水見あたりで、当時は能登まで越中に属していた。家持が解任されて入京したあと六年後に越中から分かれて能登の国ができていた。

越中の国は、大化の改新前後まで新潟県の魚沼郡や頸城まで含まれていたらしいが、国府館は現在の伏木にあつて、政治の中心は、伏木、水見あたりで、当時は能登まで越中に属していた。家持が解任されて入京したあと六年後に越中から分かれて能登の国ができていた。

越中の国は、大化の改新前後まで新潟県の魚沼郡や頸城まで含まれていたらしいが、国府館は現在の伏木にあつて、政治の中心は、伏木、水見あたりで、当時は能登まで越中に属していた。家持が解任されて入京したあと六年後に越中から分かれて能登の国ができていた。

越中の国は、大化の改新前後まで新潟県の魚沼郡や頸城まで含まれていたらしいが、国府館は現在の伏木にあつて、政治の中心は、伏木、水見あたりで、当時は能登まで越中に属していた。家持が解任されて入京したあと六年後に越中から分かれて能登の国ができていた。

伴の家持の歌の中から越中の川を詠んだ歌をとりあげて鑑賞するのも、古きをたずねて新しきを知るのたとえ、識者ならずともまた新年らしいムード作りの一助にもなるうといふもの。

・大刀山の雪しすらしも延月の川の渡り瀬あふみ積かすも(早月川)
(布施郷への巡視の途次であらう)
・婦負川の早き瀬毎にかがりさし八十伴の男は鶴川立ちけり
(神通川)

・神通川を婦負川、あるいは鶴坂川とも言った。既にこの時代越中に鶴飼が行なわれていたことがうかがわれる。

・朝床に聞けばはるけし射水川朝漕ぎしつづ唱う船人
(庄川下流、小矢部川であろう)
伏木国府館の朝床の中で射水川を遡る漁師たちの船唄を聞いて歌ったもの)

・雄神川くれなるにほう娘子らしあしつぎとると瀬に立たすらし
(庄川)

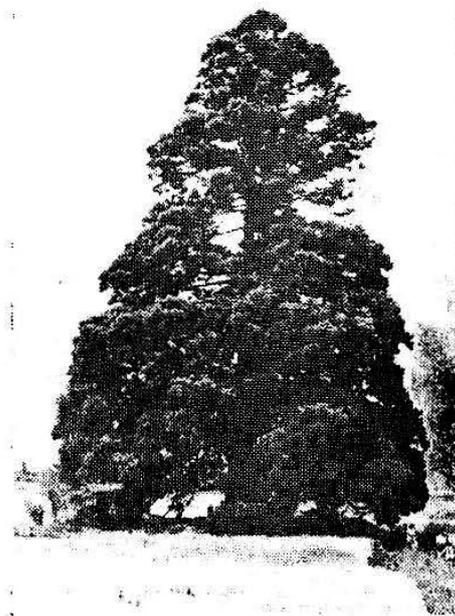
(庄川は古代雄神川といった。あしつぎは葦の根につく水藻の一種で食用となり、当時村の娘達がそろって川に入り採った)

・片貝の河の瀬清く行く水の絶ゆることなくあり通い見む(片貝川)
(流れて止まぬ水に寄せて想う人に対する相聞の歌であらうか)

・落ちたぎり片貝川の絶えぬこと今見る人も止まず通はむ(片貝川)
(前首と共に男性的な激しい情熱を感じる歌)

編集委員 間部善治

町指定文化財紹介



舟川の本杉

所在地 朝日町舟川二八三

町文化財記念物に指り五、四米、日まわり四、四米の立定された舟川の本杉山杉である。は、樹令約二百年、高さ約二十五米、根まわ間にわたり舟川新地区の水田七十三

舟川の一木杉など七件

新しく町文化財に指定

朝日町教育委員会では、このほど朝日町文化財保護条例第... 四條第一項の規定により、既に町文化財に指定されている... 十三件に加え、新しく「舟川の本杉」など次の七件を町... 文化財として指定した。(教育委員会)

種別	名称	員数	所在地	所有者又は管理者
彫刻	木造阿弥陀如来立像	一体	泊二八三 常光寺	桑守即憲
史跡	柏原家墓群	一群	大家庄一四三三	柏原長孫
史跡	横水一里塚	一基	横水九四	小沢勝恵
樹木	舟川の本杉	一本	舟川	山崎繁松
樹木	常光寺大ケヤキ	一本	泊二八三	桑守即憲
樹木	妙輪寺大さるすべり	一本	泊二五一	佐野川海俊
名勝	重瀧		笹川	長井直之助

ヘクタールと五十数戸の住宅を集中耕地と宅地整理の功労者、藤井十三郎さん(故人)の屋敷跡に切り残された記念木で、村人たちは地神杉と呼んでいる。

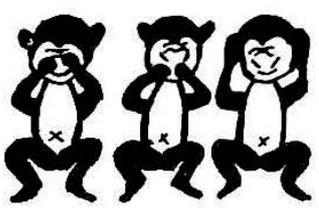
藤井さんは、同地区きつての大地主のむすこだったが、二十三歳の時高低がはげしく、曲りくねったアゼに囲まれた耕地がいかに農民のムダな努力をついやしているかをみて、散居形式の住宅を思いきって一カ所にあつめ、耕地を整理することがこの村の発展第一条件と考えた。そして、村の人たちに強く呼びかけた。

事業は、まず地区中央に四、五米の道路をつけ、道路の両側に一、八米の用水を引き、これに接して一枚十ヤすつの長方形の水田をつくらせて地区民に分けさせた。この整理によつて、同地区の農業は、近隣にないい好作と合理化ぶりをみせ、今では機械化も進み、チューリツプ、ニンニク、野菜などの作付けもさかんで町内有数の富裕地区になった。

藤井さんは、この大事業で出た大きな赤字を埋めるため、自分の屋敷も売却したが、その記念に残されたただ一本の立山杉はいまも天高くそびえ、この大功労者の栄誉を誇っている。黒部砂土地帯としては、まれにみる大木であり、その樹形の美しくさも朝日町に例がない。(教育委員会)

本年は申(さる)歳である。さるっているが、さるはなかなか可愛い最も人間に近い動物だといわれる動物なのである。よく人間にも馴れ日本では、北海道を除いて全国の山るので、昔から「さる芝居」や「さに住んでいる。日本のさるは学術名を「まわし」があった。を「日本さる」といって世界各地のさると異なった特徴をもっている。さるは山王さんの神使として信仰朝日町の山間にも相当数の猿が生息しているらしい。昨年、山の小川温泉で別府のようにさるの餌づけをやったが失敗したそうである。気長にやれば成功するかも知れない。温泉のおくの屋安谷には二、三十四の猿が多い。

『さる』のはなし



さるの集団がいるそうである。さるは一匹のボスに統率されて集団生活を営んでいるものである。大平のおくに猿飛びという所があつてさるは木梢を渡って向う側にとんだという。朝日町には猿角地(南保)、猿足(人平)など、「猿」という地名がいくつもある。数年前に、奥山に食べ物がなくなつて熊が里に現れたとき、桜町でさるがとれたことがあつた。昔からさるの頭の黒焼きは、脳の病気に効果があるといわれている。親さると子さるとの愛情の物語りがさる伝説としていまなお諸国にこの

とみえて、猿輪土偶にさるがある。さるの彫刻としては最大傑作だと思ふ。明治に高村光雲の「老猿」がある。絵のさるでは、牧谿の流れをくむ東山の墨絵派の長谷川等伯らのすくれたものがある。江戸時代では森狙川あたりが好んでさるをかいた。さるまわしを取扱った歌舞伎の「堀川」は、お俊伝兵衛さるまわしの段で有名であるが、長唄の「うつほ猿」も舞踊としても秀いでたもので、おめでたいものとて、新春のテレビなどでよくお目にかかるものである。(大菅達二)

国民健康保険だより



冬の健康

冬は疾病と死亡の多い季節なので、老人子供は、とくに次の事について日常生活に注意しましょう。

①死亡者は冬に多い

冬は病気にかりやすく、死亡者も冬に目だたて多い。これは、冬の気象条件と生活様式が大きな原因と考えられます。

②寒さの作用

寒さにうちかかって体温を一定に保つため、皮膚の血管は収縮する。皮膚や粘膜の働きは低下し、血圧が上昇し、産熱量が大きくなるほど、生理機能にたいする寒さの作用はきわめて大きい。

③生活様式の影響

屋内にとじこもりがちな冬は、生活機能が不活発になる。そのうえ、人数が換気の悪い部屋に雑居することが多く、身体に空調をきかしたり、病気に感染しやすい条件にある。たとえば、インフルエンザや感冒は、②と③の原因がかさなる冬になると流行する。

④冬の栄養

①カロリー摂取量の増加
気温が低くなるほど多くのカロリーを消費するから、冬は特

に高カロリーの食品をとる必要あり。

②タンパク質

タンパク質性食品に含まれるアミノ酸は、寒冷に対し身体の抵抗力を高める。

③ビタミンA

皮膚やノドの粘膜をつよめるバター、ニンジン、ホウレン草、魚油

④ビタミンC

寒さに対する抵抗力を増し、血圧を安定させる。Cは新鮮な野菜。

⑤冬の健康管理

①抵抗力を高める

②インフルエンザの予防

予防注射、外出後のうがい、手洗の励行。

③循環器系の疾患のある人

高血圧、心臓病のある人は特に冬はあたたかく過ごすこと。

④中年以後の健康管理

循環器系は、ふだん症状がなくてもとつぜん発作の起こる事

が多いから、中年以後の人は定期診断を受ける。

⑤皮膚の管理

しもやけにかりやすい手足や耳の清潔、保温摩擦に心がけましょう。(民生課)

忘れずに納めよう

国民年金の保険料

祝成人式

日時 一月十五日午前十時

会場 泊小学校講堂

成人者数

男	二二二名
女	二六八名
計	四八〇名

朝日町保母採用試験実施公告

昭和43年1月10日

朝日町長 中川 雅一

この試験は、朝日町において町内保育所に従事する保母の採用候補者を定めるため行なうものです。

- 採用予定人員 若干名
- 受験資格
 - (イ)昭和20年4月2日から、昭和23年4月1日までに生まれた者
 - (ロ)保母資格を現に有している者、又は昭和43年3月資格取得の見込みの者
- 試験日時 昭和43年2月1日
- 合格発表 昭和43年2月5日
- 受付申込手続
 - 受付期間 自 昭和43年1月15日
 - 至 昭和43年1月25日
- 申込用紙 朝日町役場町長室で交付いたします (町長室)

体協だより

戦後には日東紡績の体操競技や、泊高校のバスケットボール、そして昨年は清水さつきさんが日本代表としてユニバシアード大会に出場活躍されています。これらのことをピラミッドの頂点として、私たちは、底辺の拡大、町民全体のスポーツ人口の増大こそ大切なことであると思えます。

第十四回町民卓球大会

(十二月三日、泊高校)

優勝 五箇庄 (男子)

優勝 道用昭雄 (五箇庄)

優勝 小杉昌幸 (泊三区)

優勝 中島晴美 (南保)

優勝 竹内サク子 (笹川)

優勝 次勝 (女子)

優勝 次勝 (女子)

優勝 次勝 (女子)

優勝 次勝 (女子)

本年も昨年より多くの各種町民スポーツ大会、スポーツ教室など

スポーツ人口の増加と

健康なからだづくりを

一、スポーツ人口を増大し、活気あふれる町に
一、自分の身体をよくして健康で明るい町に
スポーツが盛んで、若きがあふれていることは、国の隆盛に通じるといわれています。スポーツマンは心身ともに健康で明るく、常にフェアな精神をもち、よい社会人として存在するからでしょう。こうした人たちの住む社会はいつも明るく、そして活気があふれりつばな町や村が形成されることは当然であると思えます。

わが朝日町は、戦前、陸上競技などで数々の全国的な選手が出られ、また、はなばなし、童陸上競技大会などが開催された輝かしいスポーツの歴史をもっており、

実施したいと思っており、町民の積極的な参加を期待しています。またスポーツ人口の増大ということは、地区住民の工夫によるスポーツ愛好者の増大、スポーツの仲間づくりということが最も大切なことではないかと思われま

本年は、町では体力測定をも予定しておられるようです。町民各位の現在の体力、健康診断ともあわせて自分の現在の現状をよくし、異状があれば早く治療し、なければ丈夫な身体を維持するよう、家庭でも職場でも、老幼男女、町民全体が少しでも積極的に心がけられ、健康に満ちた明るい町がうまれることを期待するもので

おやすみまえに

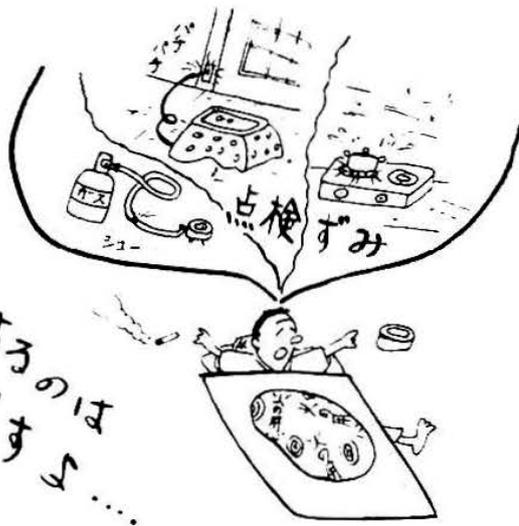
チヨット注意を!!

寒さもますます厳しくなり、これは特に出ないよう、これからの例年大寒多発期になり、寝タバコは絶対につつしむようす。

最近の大寒は全焼件数が多くな、朝日町の昨年の大寒発生件数は八件(うち全焼三件)で、幸い死者はありませぬ、一瞬のうちには私たちの財産、生命とも奪おうとする大寒を絶対に出不さないよう、くれぐれも注意してください。

火災の予防にこんなことにも注意しましょう

- プロパンガスのボンベは必ず屋外に。
- ガス器具用のゴムホースが古くなつてガス漏れがしてないか
- 電気コタツのコードやコンセントに異状はないか。
- 石油ストーブ、コンロの芯や油タンクに漏れや異状はないか。
- 石油コンロ、ガスコンロの使用



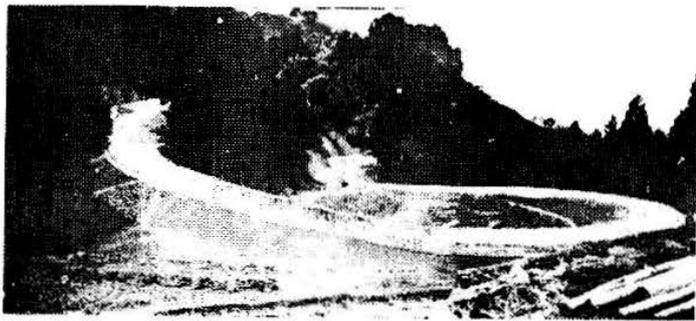
安心するのはまだです...

ぼしごを備えておく。

(消防署)

林道高畠線完成

昭和39年度より、山村振興林道として継続開設されていた、林道高畠線(写真)が完成しました。この林道は、自動車道がなく、孤立していた池ノ原部落に通ずる山村の開発を主眼とした林道の開設であり、総工事費26,500千円(国県補助55%、町費45%)で、2.946米(巾員4米)の開設がなされたものです。今後は池ノ原部落の日常生活はもちろん、耕地12ヘクタール及び林地67ヘクタールの造林、伐採の施業を容易ならしめ、山村振興に大いに利用されるものと期待されます。(産業課)



保育所入所

申込みについて

昭和四十三年四月より、保育所へ入所希望のお子様がおられれば、一月二十日から、三十一日まで受け付けいたしますから、各保育所へ申込んでください。

(民生課)

町民税、健康保険税

の第四期分の納期限は

一月三十一日です



1月保健衛生事業

26日 13・30～15・00 月山公民館

(月山)

30日 13・30～15・00 舟川新公民館

(舟川新)

▽乳児相談

12日 13・30～15・00 農業センター

ター (大家住地区)

24日 13・30～15・00 山崎連絡所

(山崎地区)

29日 13・30～15・00 境連絡所

(境地区)

▽妊婦検診

19日 13・00～15・00 泊保健所

▽寄生虫検査は世帯主の確認が困難のため、保卵者には案内し、駆除を実施しましたが、案内の受けなかった人は寄生虫のいなかった事をお知らせします。(民生課)

つまりぬむだ

積もる貯金

簡易保険かけて

伸びゆくよい郷土

(郵便局)

編集兼発行 朝日町役場
印刷所 両越印刷
送料 六円
定価 六円